

- 問1 戊辰戦争において、旧幕府軍が最後に立てこもり、激戦の末に降伏した北海道の城郭は何という？
- 問2 大政奉還や王政復古の大号令の後、新政府軍と旧幕府軍が激突した戦いを何という？
- 問3 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？
- 問4 明治政府が、欧米列強の植民地化を防ぎ、独立を維持するために掲げた国家政策を何という？
- 問5 明治政府の新しい政策や税制度に対して、不満を持った農民たちが集団で起こした反乱や抵抗運動を何という？
- 問6 明治政府が中央集権化を進めるため、全国の藩主に命じて土地と人民を天皇へ返還させた制度を何という？
- 問7 地租改正において、地租（税金）を決定する際の基準とされた土地の価格を何という？
- 問8 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？
- 問9 学制において、学校教育を受ける対象とされた人々を指す言葉は？
- 問10 明治政府が掲げた、経済を発展させて軍隊を強化するという政策のスローガンを何という？
- 問11 明治政府が廃藩置県を実施した年は何年？
- 問12 新政府軍と旧幕府軍が激突した、明治維新の戦いの発端となる年は何年？
- 問13 1868年に五箇条の御誓文を神に誓う形式で発表した当時の天皇は誰？
- 問14 明治政府の徴兵制において、兵役の義務の対象となった男子の年齢は満何歳？
- 問15 明治政府が国家の統一を図るため、地方の権限を政府の中心に集中させた体制を何という？
- 問16 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？
- 問17 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？
- 問18 戊辰戦争の最後の戦いとして、新政府軍と旧幕府軍が北海道で争った戦争を何という？
- 問19 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？
- 問20 1871年からの身分制度の廃止により、かつての武士・農民・職人・商人の区別がなくなったことを何という？
- 問21 戊辰戦争の終盤に、五稜郭を拠点として新政府軍に最後まで抗戦した幕府側の軍隊を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 五稜郭	五稜郭は、江戸時代末期に築造された日本初の本格的な西洋式城郭です。榎本武揚を中心とする旧幕府軍は、ここを拠点に「蝦夷共和国」の樹立を試みましたが、新政府軍の総攻撃を受けました。1869年に降伏し、戊辰戦争は完全に終結しました。
問2	答え 鳥羽・伏見の戦い	1868年1月、京都南郊の鳥羽・伏見で両軍が衝突しました。軍事力では勝ると思われた幕府軍でしたが、薩長軍が掲げた天皇の象徴である「錦の御旗」により、新政府側が官軍と認定され、幕府軍は賊軍として敗走しました。
問3	答え 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問4	答え 富国強兵	富国強兵は、近代的な産業を育てて税収を増やし、強力な軍隊を持つという政策です。この方針に基づき、地租改正による財源確保や、官営模範工場の設立、徴兵制の実施などが強力に推進されました。
問5	答え 一揆	これらの急激な社会変革に対し、農民たちは「一揆」を起こして学校を焼き払ったり、役所を襲撃したりして不満を表明しました。特に新制度導入直後の混乱期には、各地でこうした抵抗運動が多発しました。
問6	答え 版籍奉還	明治政府は中央集権体制を確立するため、1869年に藩主から土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させました。これにより、名目上は全ての土地と人民が天皇のものとなりました。旧藩主は政府から知事に任命されましたが、実権は次第に中央へと移行していきます。
問7	答え 地価	明治6年（1873年）の地租改正により、土地の生産性を評価して地価が決定されました。この地価を基に、土地の所有者が地価の3%を現金で納税する仕組みが確立されました。これにより、豊作・凶作に関わらず政府は一定の収入を確保できるようになりました。
問8	答え 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問9	答え 男女すべて	1872年に発布された学制では、6歳以上の男女すべてが小学校に通うことを原則としました。これにより、封建的な身分制の枠を超え、国家の構成員としての国民を育成する方針が示されました。
問10	答え 富国強兵	富国強兵とは、産業を育成して経済を豊かにし（富国）、軍備を拡張して防衛力を高める（強兵）という政策です。殖産興業による工場の建設や、徴兵令による軍隊の近代化がこの方針の下で進められました。
問11	答え 1871年	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。藩を完全に廃止し、中央政府が任命した府知事や県令が地域を治める体制へ移行しました。これにより、地方の力は中央へと集中されることになりました。
問12	答え 1868年	1868年、京都近郊の鳥羽・伏見において、新政府軍と旧幕府軍が激突しました。この戦いをきっかけに、日本各地を巻き込む戊辰戦争が本格化しました。当時の近代兵器を備えた新政府軍の勝利により、武力による政治の主導権が新政府側に確定しました。
問13	答え 明治天皇	明治天皇は、江戸時代から明治時代への転換期において、新しい近代国家の象徴として位置づけられました。1868年、新政府が掲げた「五箇条の御誓文」を神前で読み上げ、全国に新しい国づくりの方針を広く示しました。
問14	答え 20歳	1873年の徴兵令により、満20歳になった男子に対して兵役の義務が課されました。これにより、それまでの武士の特権であった軍事活動が国民全体に広がられました。
問15	答え 中央	中央集権とは、政府の中枢が地方に対しても強力な支配権を持ち、全国一律の制度で統治する体制です。廃藩置県により藩を廃止して県を置いたことで、中央政府が任命した知事が地方を治める形が整いました。
問16	答え 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川将軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問17	答え 1868年	1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここには、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。
問18	答え 箱館戦争	新政府軍はこれを反乱とみなし、陸海軍を投入して討伐を行いました。函館周辺の各地で激戦が繰り広げられ、最終的に旧幕府軍が降伏することで戊辰戦争は幕を閉じました。
問19	答え 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問20	答え 四民平等	「四民平等」は、かつて区別されていた士農工商の身分をなくし、すべての国民を法的に平等に扱う考え方です。これに伴い、平民の姓を持つことや、居住や職業の自由が認められるようになりました。
問21	答え 旧幕府軍	榎本武揚や土方歳三らが率いる彼らは、最新の兵器を備え、西洋式の城郭である五稜郭に立てこもって激しく戦いました。しかし、物量に勝る新政府軍に包囲され、力尽きて降伏しました。